	教育・研究				院内連携			院外連携	科内システム			
病院名	指導・教育・評価の方法	知識向上	研究	Ground roud/他施設からの講師招	多職種との連携・コミュニケーション列2	システム改善への取り組み	他科との連携	地域との連携	当直・拘束体制（サインアウト）・チーム制紹介	組織の運営	倫理	その他
東京ベイ浦安市川医療センター総合内科	モーニングカンファ・5分間レクチャー・360°評価	MKSAP勉強会・Journal club・IMITE	リサーチ委員会	部長回診、VisitingDr.教育回診	退院支援カンファレンス	M＆Mカンファレンス	循環器カンファ・画像カンファ	地域医療講演会・救急外来コンサルトシステム	チーム制・サインアウト制	チームリーダーミーティング	倫理カンファレンス	
	モーニングカンファ：前日の新入院患者の症例提示とディスカッションを行います　プレゼンテーションと臨床推論のトレーニングの場です	MKSAP勉強会　米国内科学会監修の内科専門医試験用問題集を用いて週1回勉強会をしています	月２回　各レジデントが研究テーマを持ち寄り、指導医とともにデザインや進捗状況などをdiscussionします	入院日の翌日には難症例を中心に部長が教育回診を行います	退院支援カンファレンス：長期入院、退院困難な患者のDispositionについて多職種でディスカッションを行います。	M＆Mカンファレンス：転機不良の症例をもとに、原因究明、安全のためのシステム改善や知識の共有につなげます	循環器カンファ：循環器疾患についてGIMと循環器の併診制を引いており毎朝治療方針をdiscussionします	地域医療講演会：周囲の医療機関、開業医の先生をお招きし、合同で講演会、勉強会を開催しています	チーム制、サインアウト制を採用し夜間は当直医へ完全申し送り制としています。	チームリーダーミーティング：GIMの運営、課題の抽出、システムの改善などPGY5レジデントとフェロー、指導医で毎週discussionし組織としての質の改善につとめています	倫理カンファレンス：倫理カンファレンスでは終末期医療や難しい臨床判断、予後予測や緩和医療などを実際のケースをもとにディスカッションします	
	５分間レクチャー　毎朝曜日別の各科レクチャーを行い、体系的な知識の構築を意識しています。	Journal club 臨床の現場からでた疑問からEvidenceを検索し、論文の批判的吟味を行い実臨床にフィードバックするトレーニングを行います		Tierney先生（UCSF）、schlossberg先生（ペンシルバニア大学病院感染症科）、Watters 先生(ハワイ大学神経内科)、岸本先生,岡田先生(聖路加国際病院　膠原病科)など多彩なVisiting doctorのレクチャーもあり病棟では教育回診も一緒に行っています			画像カンファ：毎週1回放射線科専門医から教育的な画像症例についてteachingをおこなっています	救急外来コンサルトシステム：当院と地域医療振興協会内の各地域の病院をネット環境で接続し、オンラインＴＶ電話でのコンサルトシステムを採用しています。				
	360°評価　年度の終わりに同僚、先輩、後輩、コメディカル計10人からACGME6competencyに基づき評価を受けます	IMITE 総合内科の後期研修医全員が米国内科学会専門医の模擬試験を年１回受けます。										